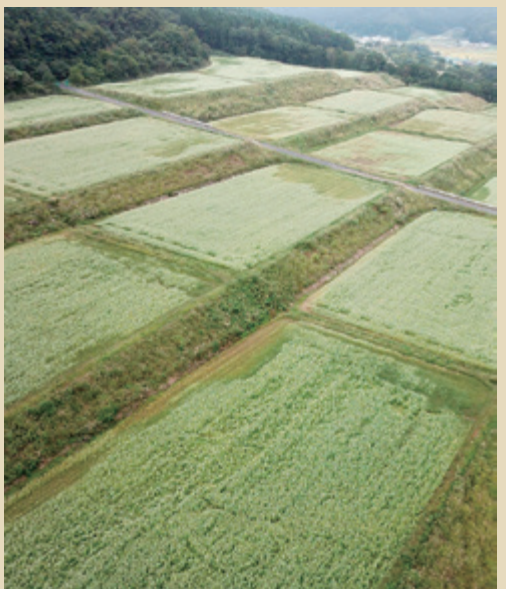


飯 いいたて 舘

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「ホールクロップサイレイジ」
- 4 特集「みかげ石ものがたり」
- 8 いいたて百景「パークゴルフ場」
- 10 報告のページ「9月議会定例会」
- 12 報告のページ「決算報告」
- 16 学びの広場「運動発表会」ほか
- 18 ほけんとふくし「敬老会」ほか
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 そのころはっ／おすすめ図書
- 24 おしらせのページ
- 25 入札結果
- 26 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 27 こころのぽけっと／ひとのうごき
- 28 HOPES (ホープス)



今月の表紙

この秋、村内のあちらこちらに、ソバの白い花畑が広がりました。表紙は上飯樋地区で満開を迎えていたソバ畑。上の写真は明神岳から「ふれあいロード」に広がった前田地区のソバ畑です。

生産中です！ホールクロップサイレイジ

稲作農家と畜産農家が農地を生かし互いを支えます

ホールクロップサイレイジ（WCS／稲発酵粗飼料）とは、稲の実と茎・葉を同時に収穫し、発酵させた牛の飼料。稲作農家と畜産農家の連携により、従来の水稲栽培技術を活用して栄養バランスのよい飼料を生産することができ、休耕田の利用・集積に向けた取り組みとして、注目を集めています。

穂した青い稲の収穫が進んでいました。刈り取りの機械は、収穫した稲をそのままロール状にまとめ、直径約1mの円柱状にして排出。シートを敷いてキャッチしたロールは、専用の小型重機を使って、ラップ材で梱包。乳酸菌を添加することにより、稲の発酵を促進させます。

9月初旬、二斉に始まった収穫作業におじゃましました。



13区営農組合（細川強代表／上飯樋）の作業。今年の販路は地元を中心に確定。県外からも打診がありサンプルを送るそう

「来年は、WCS、大豆、小麦の3本柱でできればいいね」と細川代表。刈り取りが終了すればすぐに耕うんし、来春の準備が始まります。



汚れを避けるためシートを敷いた上に排出されるロールを、小型重機が持ち上げグルグルグル。あっという間にラップ材が巻かれていきます。



須萱地区の水田で行われていたWCS用の稲の刈り取り。「松一さんの田はヒエも混じらず、さすがだな。牛も喜んで食べるだろうね」と山田猛史さん（右／関根・松塚）。地区の農地の集約にも取り組んでいます。重機を運転するのは息子の豊さん。



畜産農家の山田豊さん（左）と稲の栽培に取り組む高橋松一さん（二枚橋・須萱）。互いの仕事に対する信頼が生産を支えます。

遊休農地の活用に取り組んでいます

農業従事者の高齢化や担い手の減少は、被災地だけの問題ではありません。遊休農地の維持管理・活用は従前からの課題で、担い手への農地の集積（大規模化）に向けた取り組みや、集落営農への転換が、全国的に進められています。そうした流れの中、稲作農家と畜産農家が連携して自給飼料を生産するホールクロップサイレイジ（WCS）は、水田の活用にも有効であることから、村内でも生産面積が拡大しています。生産に取り組む農家の皆さんは、獣害対策を行いながら、WCS用米の品質向上、増産などに取り組んでいます。



村境の石碑たち

前田地区と伊達市月舘との境にある石碑。地区内に東北大学大学院の惑星圏観測所があることから天文学をイメージしたデザインに。



二枚橋の水芭蕉群生地からほどなく伊達市月舘との村境にある石碑。牛の角をかたどっています。



佐須峠の頂、伊達市霊山との境にある石碑。柱に支えられ球体が宙に浮かんでいる技ありの造形。



大倉地区、南相馬市との村境。はやま湖畔で開かれていたマラソン大会をモチーフにランナー型の石碑。

主要道路の村境に石碑があります。これらは「石彫のある村・工芸文化の村づくり」を掲げ、県の地域振興事業の助成を受けて、村が設置したもの。今から20年以上前、平成9年度から11年度まで3か年をかけ、村内の石材業者が制作したものです。

いいたて みかげ石 ものがたり

上質なみかげ石の産地

県道原町川俣線の南相馬市との村境。現在は隣にリアルタイムの放射線量を表示する「お帰りなさい」看板があります。



「いい」にも石碑があるな」「ユニークな石彫：」「でも、どうして？」と思っている方はいませんか。そう、飯舘村には、至る所に、さまざまなメッセージを秘めた石碑や石彫が置かれています。

飯舘村は、上質な「白みかげ（御影）石」の産地。戦後からその生産が本格化し、村の主力産業として石材業が発展しました。しかしその後、海外からの安価な石材が国内に流通するようになり、次第にその生産

量は減少。東日本大震災時の全村避難をきっかけに、事業の休止・廃止が相次ぎ、現在に至ります。

しかし、村のみかげ石の持つ魅力が、変わったわけではありません。建築物が、その美しさを伝え、石碑は、建てた当時の方々の思いを永く発信し続けています。

村内のみかげ石スポットを、ごく一部ですが紹介します。村内を彩るみかげ石に、ぜひご注目を。

浪江町との村境。今は自由な通り抜けができない道ですが、石碑は胸を張ってゲートの開く日を待っています。



県道原町川俣線の川俣町側の村境。村に入り、ぱっと風景が開ける場所にあります。こちらにも「お帰りなさい」看板。



交流センター「ふれ愛館」前にある飯舘村の形の石碑。表面には「ようこそ飯舘村」の文字。裏面には、村境の石碑の大まかな位置が記されていて、まるで宝探しの地図のような楽しさがあります。



比曽から川俣町山木屋に続く道沿いにある石碑。峠道を降りて住宅が見えてくる場所で来村者を迎えます。



国道399号線から浪江町に続く道。手書き風の文字が印象的です。



いいたて みかげ石 ものがたり



飯館みかげ石販売協同組合
理事長 濱田幸政さん（草野）

濱田石材工業社長。村内の業者を組織化し石材業を地場産業とすべく尽力。同社は現在も村内での採石を行っています。

全国から募った句をみかげ石に刻んだ「あいの句碑」が並ぶ「村民の森あいの沢」に、濱田さんが寄贈した句碑。全村避難中に黛まどかさんが詠んだ句を刻みました。



ひたすらに
雪を重ねて
村眠る

インタビュー／みかげ石 ものがたり

村役場の庁舎や敷石にみかげ石を使うなど、当時、石材業で村おこしをする機運が高まっていました。地元の石を生かしたいと、協同組合も奮闘。村境に石碑を建てる時にも、組合の各社が分担し、公募したデザインなどを採用しながら、思いを込めて石碑をつくりました。

村の地盤は岩盤で強い。畑などからみかげ石が出ることも珍しくありませんでした。ここで産出する白みかげは、強度があり、含まれる鉱石にも調和があり、艶が出て非常に品質がよい。原石での出荷が多く、県外にも取引先を増やし、墓石や建材として各地で利用されました。一方、職人を招いて技術を学び、村内でも石材加工が盛んになっていきました。

現在は安価な輸入石材が国内流通のほとんどを占めていますが、国産の石のよさも大切にしたい。石に彫れば、末代まで残ります。村内にあるさまざまな石の作品も、村の歴史を語り継ぐものになっていくでしょう。

飯館村のいろいろな場所所で存在感を放つみかげ石。時代の流れで輸入石材におされ、石材業界全体が縮小しているところですが、飯館村のみかげ石の魅力は、多産でないからこそその価値が増しているかも知れません。

主力産業として盛んであった頃、村おこしに、地元の石を使って、さまざまに行われていた事業や試み。まさに「石は末代まで」で、当時の人の熱い思いが、そのまま伝わってくるようです。

村境の石碑が気になっていた皆さん、まだまだ語り足りない中ですが、多少は疑問が晴れたでしょうか。「愛する村に、ようこそ！」とデザインに思いを込めたみかげ石の石碑は、今も、村を訪れるすべての人を歓迎しているのです。



全国から「座右の銘」を募り、みかげ石に刻むプロジェクトが進行中。その石碑は「いいたて村の道の駅までい館」の遊歩道に設置されています。人生で大切にしている言葉を伝え合う「言葉の散歩道」です。

みかげ石を生かして

特産のみかげ石を活用した見どころスポットを紹介します。



平成5年度に完成した役場庁舎は「自然と溶けあうやさしい役場」がコンセプト。みかげ石のよさを生かしたデザインが目をはきます。



役場の前庭にも多くの石彫。平成5年に村内で「あぶくまストーンコンベンション'93」が開かれ「みかげ石を利用した彫刻のある村づくり」が進められました。

村の中にあるさまざまな施設に、みかげ石は生かされています。建物はもちろん、道路の縁石や、案内板の台座、看板、石碑などに利用され、村の風景を彩っています。この夏にオープンした「ふかや風の子広場」にも、名称を刻んだ大きなみかげ石が設置されました。そして、どのスポットのみかげ石も、石なんだけど、どこか温かみを感じられます…そこに誰かのアイデアや、伝えようとした思いが込められているからでしょうか。

橋の欄干の柱にもこだわりのデザイン。大師堂橋には地名の「大師堂」にちなみ伝統建築の装飾「擬宝珠（ぎぼし）」、飯樋川の新橋には祭りの太鼓がデザインされています。



「いいたて希望の里学園」の花壇の縁石にもさりげなくみかげ石が使われています。



飯舘 百景

いいたてパークゴルフ場

村民の健康増進と、村内外に暮らす村民の交流を目的に整備を進めてきた「いいたてパークゴルフ場」が、村のセンター地区に完成しました。愛好家の皆さんが、練習拠点として、競技を通じた交流の場として、楽しみに待っていた施設です。

式やテープカットで、施設のオープンを祝いました。また、使い初めの「交流パークゴルフ大会」も開催され、参加した約120人の皆さんが、コースの感触を確かめました。

敷地面積は、約4万7000㎡。場内には、事務所や休憩スペースを備えた管理棟、約40台分の駐車場があります。コースは、「のびのびコース」9ホール、「レベルアップコース」9ホールの合わせて2コース・18ホール。程よいアップダウンを設けた天然芝のコースで、プレイがより面白くなりそうです。

天然芝の養生が続くため、本格オープンには、来春からを予定。利用方法など詳細は、生涯学習課 ☎ 0244(42)0072までお問い合わせを。

難易度の違う2つのコースがあります。写真はレベルアップコース。やわらかな天然芝の上は、とてもソフトな歩き心地で、リラックスしてプレイが楽しめそうです。使用料は1回500円で、お得な11回券は5,000円。クラブやボールのレンタルもあります（各1点1回につき100円）。



交流大会でなごやかにプレイを楽しむ参加者



コースから望む山々の風景もいいね



駐車場に隣接する管理棟



関係者が1列に並んで笑顔の始打式

令和2年9月議会定例会は、9月7日から18日までの日程で開かれました。一般質問は9日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は18日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

令和2年9月議会定例会は、9月7日から18日までの日程で開かれました。一般質問は9日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は18日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

令和2年 第8回 飯舘村議会定例会



今議会で可決 された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

令和2年度一般会計補正予算

令和2年度簡易水道事業
特別会計補正予算

令和2年度農業集落排水事業
特別会計補正予算

令和2年度介護保険
特別会計補正予算

令和元年度飯舘村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について

飯舘村議会議員及び飯舘村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

飯舘村手数料徴収条例の一部を改正する条例

飯舘村飲料水安全確保対策基金条例を廃止する条例

飯舘村第6次総合振興計画の策定につき議決を求めることについて

土地の取得について

被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(伊丹沢西エリア肉用牛用施設)請負契約の変更について

飯舘村ライスセンター新築工事請負契約の変更について

福島再生加速化交付金事業飯舘村簡易水道監視設備等整備工事請負契約の変更について

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて等

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

蔵平地区木質バイオマス発電計画について

6月15日から7月15日までの1か月間、プロポザル競技方式による公募を行ったところ、4社(飯舘バイオパートナーズ㈱、フォレストエナジー㈱、新宮エネルギー㈱、ブルー・バイオマスフューエル㈱)から応募がありました。7月21日に大学教授や国立環境研究所の専門家など10人によるプロポザル選定委員会を開催し、応募のあった4業者から企画提案書に基づきヒアリングを実施した結果、「飯舘バイオパートナーズ㈱」に決定しました。

バイオマス発電計画については、村としても以前から放射能で汚染された森林や里山の再生が大きな課題となっていましたので議会と連携し、国に要望活動を行い、先進地の視察なども実施しながら検討してきました。今後、関係機関、地元住民等と十分協議を行い、安全・安心な施設整備を目指します。

行政区長・副区長会議

第2回行政区長会議を開催し、各課の主要事業等の説明や第6次総合振興計画策定の進捗状況、新型コロナウイルス感染症への対応状況などの説明を行ったほか、各行政区から要望や質問を受けています。

交通事故死者ゼロ 1000日

村では6月13日に、交通事故死者ゼロ1000日を達成しました。同15日には、交通安全関係機関の代表者らも出席して、相双地方振興局長から表彰状の伝達を受けました。

課税状況

8月1日現在で村民税2433件、固定資産税257件、軽自動車税3738台、国民健康保険税81件です。

いいたてクリニック

5月から7月末までの間に延べ356人、一日あたり15人程が利用しています。

農政関係

主食用米、飼料用米、ホール・クロップ・サイレージ用稲の作付面積は、昨年度の11地区・約45haから、13地区・約129haまで拡大しています。

次に、野菜等については、品目に応じて、県の緊急時モニタリング検査または村の自主検査のいずれかを受けることになっています。7月末までにキュウリ、ナスなど51品目226点の検査を実施しています。

また、村内で生産した自家消費用の野菜についても、いちばん館や各行政区に設置した非破壊式検査機による検査を受けるよう、各農家に指導しているところ です。

鳥獣被害対策

7月までにイノシシ147頭を駆除しました。また、村内で農業に携わる方の圃場については、ご希望に応じて順次、電気柵やサル対策用フェンスの導入を進めているところです。

新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援補助金

商工業者向け補助金「新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援補助金」ですが、7月末までに4件の申請があり、568万円の交付を行いました。今後、申請交付の手続きを進めていきます。

いいたてプレミアム付商品券

6月1日から「いいたてプレミアム付商品券」を販売しています。7月末までに、村民や村内事業所に勤務している方に7628冊を購入していただきました。さらには、この交付金を活用したイベントとして、8月9日に道の駅までい館で、村商工会主催「いいたて夏祭り」を開催しました。

いいたて村の道の駅までい館

平成29年8月12日にオープンしてから7月末までのレジ客数は、までい館が30万510人、セブンイレブンが77万5290人となっています。

令和元年度に
村民1人あたりに使われたお金
(10円未満四捨五入)

222万5,940円

※一般会計目的別歳出決算額
119億2,659万円
人口5,358人(令和2年4月30日現在)

農林水産業費
農業復興のために



1人あたり
70万2,040円

総務費
村全般企画・管理に



1人あたり
55万8,360円

土木費

道路や橋の整備に



1人あたり
32万7,190円

民生費

福祉増進のため



1人あたり
18万9,970円

衛生費

清掃・予防衛生に



1人あたり
10万8,230円

商工費

企業立地支援などに



1人あたり
8万7,700円

教育費

学校教育の充実に



1人あたり
8万5,460円

公債費

借入金の返済に



1人あたり
7万9,830円

災害復旧費

災害復旧に



1人あたり
4万1,820円

消防費

消防・防災に



1人あたり
3万2,810円

※その他(議会費、労働費、諸支出金)……1人あたり 1万2,530円

村各特別会計の決算状況 ※()内は前年比

国民健康保険特別会計

歳入: 12億3,377万円 (3.9%増)
歳出: 11億1,255万円 (0.4%増)

簡易水道事業特別会計

歳入: 3億2,594万円 (159.7%増)
歳出: 3億1,175万円 (149.0%増)

農業集落排水事業特別会計

歳入: 3億3,163万円 (115%増)
歳出: 2億96万円 (30.6%増)

介護保険特別会計

歳入: 10億8,786万円 (1.1%減)
歳出: 10億1,048万円 (5.6%減)

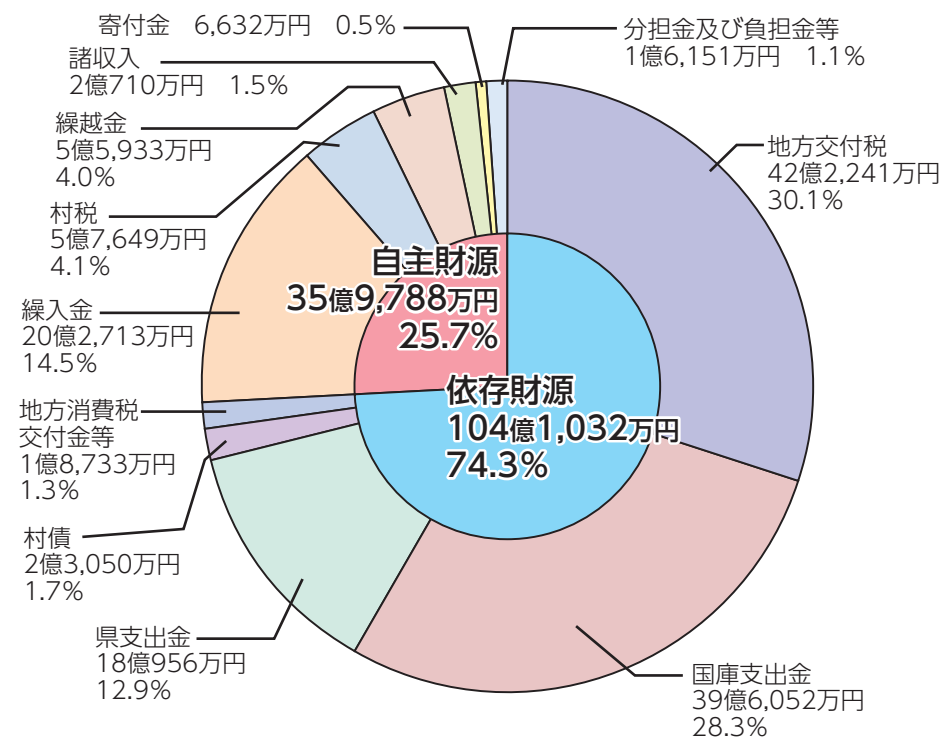
介護サービス事業

歳入: 554万円 (1.9%減)
歳出: 554万円 (1.9%減)

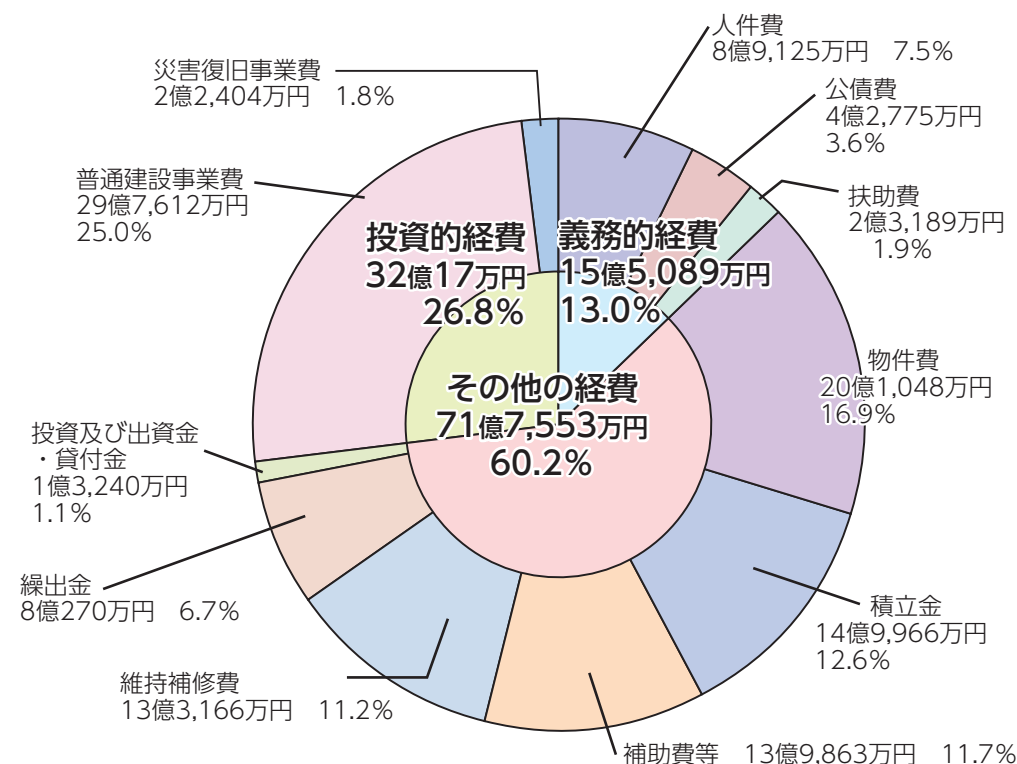
後期高齢者医療特別会計

歳入: 2,718万円 (13.5%減)
歳出: 2,699万円 (12.7%減)

歳入 140億820万円



歳出 119億2,659万円



令和元年度 飯館村 決算報告

飯館村における令和元年度各会計決算がまとまり、9月定例議会にて承認されました。本村の一般会計歳入総額は140億820万円、歳出総額は119億2659万円で、20億8161万円の黒字決算となりました。

昨年度に比べ、歳入は28億9327万円減額、歳出は41億1555万円減額となりました。減額の原因は、歳入での福島再生加速化交付金、帰還環境整備交付金基金繰入金等の減少。歳出では、事業終了により学校等再開整備事業工事、帰還環境整備交付金基金元金積立金等が減少しました。昨年度の村政の動きと、一般会計・特別会計の主な内容等をお知らせします。(金額は端数処理をし、万円単位にしています)

村役場職員の給与などを公表します

村の行政運営における公正性と透明性を高めるため、「地方公務員法」及び「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数等の人事に関する運営状況についてお知らせします。

○職員数の状況（各年4月1日時点）

			職員数		対前年 増減数
			令和 元年	令和 2年	
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2	2	0
		総 務	20	20	0
		税 務	5	5	0
		民 生	8	8	0
		衛 生	9	10	1
		労 働	0	0	0
		農林水産	6	5	△1
		商 工	2	2	0
		土 木	6	5	△1
	計	58	57	△1	
	教 育 部 門		10	10	0
小 計		68	67	△1	
公 営 企 業 等会計部門	そ の 他	8	8	0	
	小 計	8	8	0	
合 計			76	75	△1

○特別職の報酬などの状況（令和2年4月1日時点）

給料（月額）	村長	64万4千円（80万5千円）
	副村長	58万5千円（58万5千円）
	教育長	55万8千円（55万8千円）
報酬（月額）	議長	30万円
	副議長	25万1千円
	議員	23万5千円
期末手当	村長	(令和2年度支給割合)
	副村長	
	議長	
	副議長	
	議員	
		6月期 1.70月分
		12月期 1.70月分
		計 3.40月分

※給料の（ ）内は、減額措置を行う前の金額です。
※職員数は、一般職（会計年度任用職員等を除く）に属する定員管理上の職員数です。
※詳細については10月下旬頃村ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

○職員の平均年齢、平均給料月額（令和2年4月1日時点：一般行政職）

平均年齢	平均給料月額
39.6歳	31万3,982円

○職員の初任給の状況（令和2年4月1日時点）

一般行政職	大学卒	18万6,500円
	高校卒	15万3,900円

○人件費の状況（普通会計令和元年度決算）

住民基本台帳人口（令和2年1月1日）	5,467人
歳出額 A	119億2,658万5千円
実質収支	7億6,453万7千円
人件費 B	8億916万8千円
人件費率 B／A	7.5%



新しい村に向かって ～令和元年度に実施した主な施策～

令和元年度一般会計決算額の中で、復旧・復興事業に要した歳出総額は86億9,604万円で歳出全体の約7割を占めました。令和元年度に村が行った主な施策について、紹介します。

深谷復興拠点整備事業…4億1,386万円



生活環境整備事業…9億6,521万円



福島県営農再開支援事業…7億9,073万円



農業基盤整備促進事業…2億9,849万円



飯舘村の財政状況指標

令和元年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。令和元年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯舘村の財政状況
一般会計での赤字の程度（実質赤字比率）	15%	算定なし
全会計での赤字の程度（連結実質赤字比率）	20%	算定なし
財源の中で借金返済額の占める割合（実質公債費比率）	25%	6.0
全会計を対象に、一般会計などが将来負担する借金の財政規模に対する割合（将来負担比率）	350%	算定なし

その2 外国語科・音楽科の「教科担任制」

前期課程5・6年生の外国語科と音楽科は、後期課程の英語科・音楽科教諭が、授業を行っています。写真は、6年生の外国語科(英語)の授業。児童生徒は、授業を通して教科担任制に自然に慣れ、後期課程の授業を楽しみに感じているようです。後期課程の授業にスムーズに接続できると、先生方も期待しています。

英語の発音が上手になってきたよ

ALTの先生とすらすら話したいな



普段の子ども達
のようすはHPで



いいたて希望の里学園

までいの里のこども園

「いいたて希望の里学園」「までいの里のこども園」のホームページでは、いきいきと学び活動する子ども達の様子を紹介しています。楽しいですよ。一度のぞいてみてください。(左のQRコードからどうぞ)

義務教育学校のメリットを生かす
教育活動をレポートします

いいたて希望の里学園

お知らせ
したい!

学園レポート



特別寄稿「全2回」

飯館村教育アドバイザー
同教育委員会学校教育指導員・臨床心理士
海野 和夫

飯館村の学校教育の現状とこれから <その2>

東京電力の原発事故による全村避難、福島市松川町の仮設住宅にはたくさんの方々が住まいでした。中学生の田植え踊りなどを携えての訪問に同行したり、また時折一人でお茶飲みに参加していました。ここではいつも、ほぼ全員、特に高齢者が「これからの飯館村で大事なものは教育」と異口同音に語っておられました。わが子が孫の自立、進路、職業、結婚、村の再生を考えたとき、飯館村の誰もが、村のこれからは教育にかかっている、と感じているのが明らかでした。

2019年に認定こども園「までいの里のこども園」、2020年に義務教育学校「いいたて希望の里学園」が設立されました。こども園は原発事故直後から保育所と幼稚園を統一の方向で検討を開始し、また小中学校は、コミュニティスクール(地域に開かれた学校)の導入、次いで小中・貫校(教育課程特例校)の検討、そして国に義務教育学校の制度ができた機会に希望の里学園の設立となりました。

これらは菅野典雄村長の発議によって始まり、教育委員会と学校関係者、村民有志、そして文部科学省をはじめとする

村内外の専門職や有識者が参集して設立に至っています。飯館村の未来と子供たちの将来を見据えて望ましい学校教育のあり方を構想して、長い時間と順序を踏んで協議し、村の人たちが「教育が大事」と願う学校教育のかたちを創り上げました。

飯館村の高等学校のことも、原発事故前から村役場内で、「相農飯館校の再生を考える」のテーマで協議を重ねていました。それを基本として、少し前には村立高校の設立を目指しました。残念ながら道半ばになりましたが、再検討し、飯館村でこども園、小中学校、高校と接続する学校制度を創設すべきと考えます。

教育格差を生み出す最大の要件は教育機会の不平等と言われています。こども園から高校まで一貫して飯館村で学ぶことができる村づくり、これこそが飯館村の新たな魅力と価値の創出です。若い人たちが志高く真剣に学び合う飯館村、そうなればうれしいですね。

飯館村の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。飯館村の二層の発展を祈ります。

までいの里のこども園 運動発表会

9/19

「きらきらかがやけ! みんなのえがお」をテーマに開催。新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、日頃から取り組んでいる運動遊びなどを通して、成長する子どもたちの姿を、ご家族に披露しました。

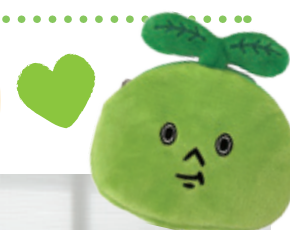


学園
NEWS

イタネちゃんポーチを発売! 「いいたて学」の実践

「いいたて希望の里学園」では、「いいたて学」の授業で、児童生徒が、地域に根ざした実践的な活動を行っています。村の公式キャラクターを活用した「イタネちゃんポーチ」の製作も、「いいたて学」の多様な活動の一つで、試行錯誤を経て完成したポーチが、この夏、発売となりました。道の駅でも販売され、すでに製作した300個はすべて出荷済み。9月10日には、職員が注文したポーチを、菅野翼さん、佐藤姫愛さん(共に9年生)が、役場に届けてくれました。収益金は、交流が続くラオスへアジア教育友好協会(AEFA)を通じて、全額が寄付されます。

先輩たちの活動を引き継いだポーチです



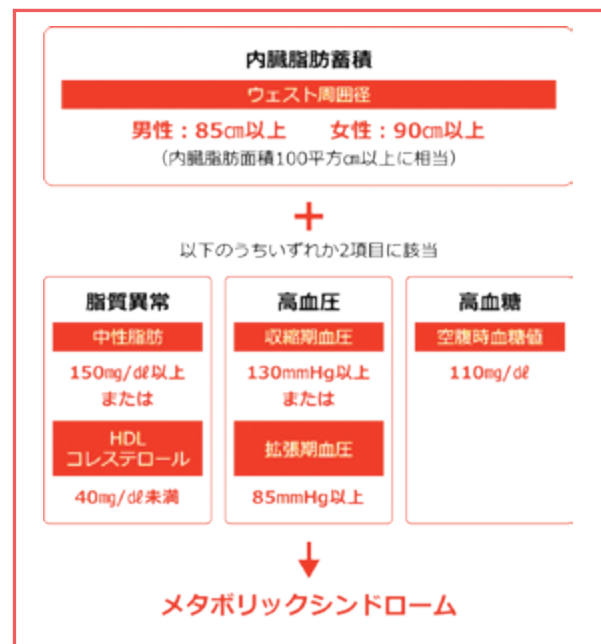
ポーチをお届け。菅野さん(中央)と佐藤さん(右)

健康注意報！メタボリックシンドロームの方が増えています

※今年度の村の集団健診の結果、**3人に1人がメタボ**に該当していることが分かりました。この状態が続くと、糖尿病、心臓病、脳血管疾患などの重篤な病気を発症するおそれが高まります。

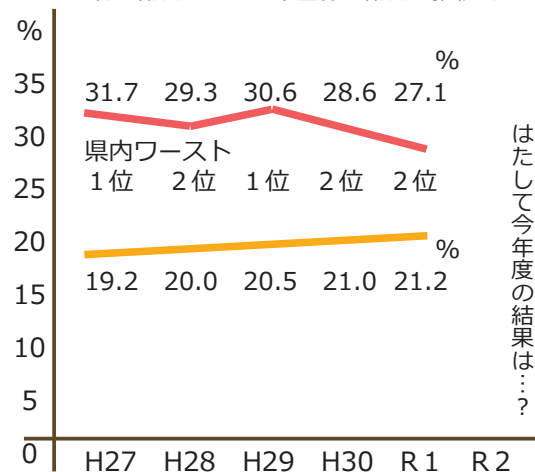
※40～74歳の国民健康保険加入者が受診する特定健診の結果

●メタボリックシンドロームとは



略して
メタボ

下のグラフは、特定健診でメタボに該当した人の割合。
— が村の割合、— が県全体の割合の推移です。



村では、保健師や栄養士が、家庭訪問や健康相談を行っています。検診結果の見方、食生活・運動についてなど、ぜひご相談を。

生活習慣の改善について一緒に考えましょう！

問 健康福祉課健康係（いちばん館） ☎ 0244-42-1637

お知らせ

令和2年度 国勢調査について

令和2年10月1日現在で、国の最も重要な統計調査である国勢調査が実施されています。国勢調査は、住民票などの届出に関係なく、普段住んでいる場所で、すべての人・世帯が対象となる統計調査です。村では、調査員証・腕章を身に付けた調査員の皆さんが、調査を開始しています。

調査票の回答につきましては、新型コロナウイルス感染症対策等のため、①インターネットでの回答、②返信用封筒での郵送回答をお願いしておりますが、これまで通り調査員への調査票提出でも回答できます。

①、②とも回答の期日は**10月7日（水）**までとなっております。①、②の方法で回答していない世帯には、**10月8日（木）以降、改めて調査員が訪問し、調査票を回収することとなっております。**調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

なお、調査票が届いていない方については、村づくり推進課企画係までご連絡ください。

問 村づくり推進課企画係 ☎ 0244-42-1613



調査員は写真の調査員証と腕章を付けて調査にうかがいます

3組の金婚夫婦が出席



高橋義治さん・ちよ子さん
（飯樋町）



菅野茂さん・ミサ子さん
（関根・松塚）



森永睦雄さん・ミツイさん
（前田・八和木）

令和2年度

飯舘村敬老会

感染症対策を徹底し規模を縮小して開催しました

9月13日、「いいいて希望の里学園」体育館で、敬老会が開かれました。
式では、村からの祝い金、村ライオンズクラブからの祝い酒が、それぞれ贈られました。また、福島民報社からは、結婚50年の節目を迎えた9組のご夫婦に「金婚表彰」が贈られました。
アトラクションには、二本松市を中心に活動しているトランペット奏者・Noby（ノビー）さんが登場。お馴染み

の時代劇のテーマから、しっかりとした演歌まで、華やかな音色で参加者を楽しませました。
これまで敬老会には75歳以上の方を招待していましたが、今回は、新型コロナウイルス感染症対策で密を避けるために、80歳以上の方とさせていただきました。また、席の間隔を十分に空けて3密を防ぎ、検温、手指の消毒を徹底。予防対策を講じながらの開催でした。

マスク姿の再会になりました。感染症の予防に努め、元気でご長寿を！



村社会福祉協議会の渡邊守男会長（小宮）の発声に合わせソフトドリンクで乾杯！



Nobyさんのステージ。時代劇テーマソングのメドレーなどで会場を楽しませました

移住者懇談会を開催 解除後の新村民は100人に



3密を避けゆったりと配置された席。自己紹介の後、なごやかな交流が続きました

8月29日、旧草野小学校で開催していた「モノは捕らえよう展」の会場で、移住者懇談会を開きました。平成29年の避難指示解除以降、村内に移住した新村民(転勤など短期の居住を除く)がちょうど100人となったばかりのタイミング。懇談会にも27人が参加しました。村は定住・交流人口の増加に取り組んでいますが、当初の目標を超える移住希望をいただいている状況です。菅野村長が歓迎のあいさつを述べ、出席者一人ひとりが移住のきっかけや、現在の暮らしなどを語りました。

グリーンスローモビリティ 実証の運行が始まりました

環境にやさしい電気自動車で、公共交通機関の先の“足の確保”を目指す「グリーンスローモビリティ」。その試験的な運行が、8月26日から9月20日まで、村内で初めて行われました。この運行は、環境省の実証事業で、実施主体は福島交通です。今回は、路線バスの発着時間に合わせて、道の駅、村役場、いいいてホーム、いちばん館の間を巡回しました。10月・11月にも別ルートで運行し、効果的な導入方法などが検討されます。次回以降の詳細は改めて周知が行われます。



出発式の出席者に見送られる始発の車両。利用者の感想や意見を集めています。ぜひお気軽にご乗車を

自然の音と融合するメロディ 守時タツミ コンサート



美しい映像と音楽に癒やされたひととき。定員を40人とし3密を防ぎながら開催しました

9月5日、交流センター「ふれ愛館」で、守時タツミさんのコンサートを開催しました。守時さんは、さまざまな土地で「音」を録音し、その音を生かして風景や思いを表現する「MOTTAINAISOUND(もったいないサウンド)」を演奏しています。心癒す音楽に、来場者が静かに耳を傾けました。守時さんは、避難中にも仮設住宅などを何度も訪問し、音楽を届けてくれました。村内での演奏も今回が3回目。終了直後から、次回を待望する声が聞かれました。

交流センター「ふれ愛館」で 憧れの「一閑張り」に挑戦！

8月20日・27日の2回にわたり、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「一閑張り教室」を開催しました。講師は、佐藤美喜子さん(関根・松塚)。制作の順番やきれいに仕上げるコツをていねいに教えていただき、初めての方も、楽しく作業を進めることができました。初回は竹籠に和紙を貼り、1週間をかけて乾燥。2回目の教室で、柿渋を塗り、仕上げの作業を行いました。参加者の皆さんは、「どんな感じにしようかな」と話しながら、和気あいあいと作業。文化祭出品用の小さな作品も製作しました。



「やってみたかった」と言う初心者の方も、素敵な作品を完成。教室開催の継続を要望する声も

市町村対抗軟式野球大会 あと一步の惜敗



1回戦の対昭和村戦は不戦勝で勝ち上がり、2回戦を健闘。投打も好調で、来年の活躍が楽しみ

第14回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場した飯館村チームの2回戦が、9月20日、小野あぶくま球場(小野町)で行われました。村チームは、白河市チームと対戦。互いに点を取り合う展開となり、3対2の1点リードで最終回を迎えますが、粘りを見せた白河市チームに2点を奪われ、逆転負けを喫しました。勝利まであとわずかの惜敗。選手の皆さんは来年のリベンジを誓っていました。



好投した草野隆洸投手

クリエイターの拠点づくり みんなで楽しみませんか

8月29日、旧草野小学校で、DIYイベントが開かれました。DIYとは「Do It Yourself」の頭文字。直訳すると「自分でやってみよう」で、自身で何かを製作・修繕することを指します。このイベントは、アーティストやクリエイターが集う拠点をつくり、地域おこし協力隊の松本奈々さん(深谷)が進める「Bound for IITATE」プロジェクトの一環。呼びかけに応じて集まった皆さんが、校内の廃材を活用し、シェアハウスで使う机を製作しました。イベントは月1回のペースで開催。出会いとモノづくりの楽しさが味わえます。



交流を楽しみながら2班で作業。基本のデザインに工夫を加えて、それぞれに素敵な机が完成しました

facebook→
当日の動画もあります



その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#16



(上)多くの人を受け入れてきた庄司さんの家。(下)訪れた人との縁を大切に。手製のアルバムには思い出の写真がぎっしり。

新型コロナの影響で来村の予定がいくつも延期になっています。「早く安心して行き来ができるようになってほしいね」



庄司 開 さん
草 野

村を訪れる人の宿泊場所に自宅の部屋を提供し、交流をしているという庄司さん。そのユニークな取り組みは、県外の新聞にも取り上げられ、新たな問い合わせも来ているそうです。宿泊者は食材を持ち込み、食事の準備はそれぞれに。庄司さんは、採れたて野菜や果物を振る舞います。雨天時でもバーベキューができるよう、専用のスペースも設けました。

相馬大野台応急仮設住宅に避難し、視察に訪れる人やジャーナリストらに現状を伝えるうちに、深まっていた交流。多くの人が、帰村後も、庄司さんの家を訪ねて来るようになりました。アマチュア無線や海釣りなどの趣味でつながる仲間達も、やって来ます。建て直した家には、家族の部屋他に、来訪者が気軽に泊まれる部屋も整えました。「飯館の復興する姿を、皆に見てほしい」と庄司さん。「苦勞して16人家族を支えた親父の時代から、村には世話になってきた。自分なりに恩を返したいんだよ」。

話題のパレット

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613

大き過ぎるアザミ！



菅野康雄さん、キミエさん(関根・松塚)の自宅の前庭に、巨大なアザミが現れました。なんと約3mの高さ。茎は太い所で大人の腕ほどもあり、つぼみも無数についています。康雄さんがこのアザミに気づいたのは6月頃のこと。最初から勢いがあり、どの程度まで育つか、夫婦で見守っていたそうです。

海外には大きく育つ食用のアザミもあるようですが、このアザミは突然自生したとのこと。ここまで育つとはびっくりです！

フラワーキャンドルづくり



村民のグループ「裁縫科」と「オープンガーデンいいたて」が共同で開催。15人が参加しました。

9月18日に開催された「フラワーキャンドルづくり」の講習会。講師は地域おこし協力隊でキャンドル作家の大槻美友さんです。素材にはアジサイやバラなど「オープンガーデンいいたて」の皆さんがまでに育てた花も並びました。大槻さんのていねいなアドバイスのもと、十人十色の素敵な作品が完成しました。

いつものように
会話ははずんで
楽しい講習に

「ほんの森 いいたて文庫」



ボランティアさんの手による展示。当時の「ほんの森いいたて」の温かな雰囲気を伝えます

交流センター「ふれ愛館」だより

「やさしさと活力あふれるクオリティライフいいたて」を目指して平成7年2月にオープンし、約16年間、村内外の皆様に親しまれた村の本屋さん「ほんの森いいたて」。平成23年の全村避難から、長い間、休店が続いていましたが、今年、残念ながら、閉店することとなりました。そこで、「ほんの森」に縁のある3人の図書ボランティアの方に協力をお願いし、交流センター「ふれ愛館」で、展示を行うことになりました。「ほんの森 いいたて文庫」として、本の貸し出しも行います。『読書の秋』です。ほんの森を想いながら、多くの皆様にご活用いただければ幸いです。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間
平日：午前8時30分から午後5時

手作り石けん教室

エッセンシャル
オイルの香りも
楽しみながら...



9月20日、旧白石小学校に事務所を置く「地域創造研究所」の集会室で「手作り石けん教室」が開かれました。講師はAtelier Mazette(あとリエ・まぜて)の菊野里絵さん。参加者は、「化学の勉強なんて何十年ぶり?」と言いながら材料をまぜまぜ。化学反応を楽しみながら、それぞれの石けんを手作りました。

11月8日(日)、1月17日(日)、3月21日(日)も開催予定。材料費込2,000円。要予約です。

詳細の問い合わせと予約は下記まで
☎ 090-6456-0307
✉ riico@live.jp
(担当は菊野さん)

←トマトのせっけん

←キュウリのせっけん

入札結果をお知らせします

入札日／7月3日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
飯舘村光ケーブル支障移転工事（草野字舘東地内）	3,960,000円	東日本電信電話(株) 宮城事業部 福島支店	令和2年 10月下旬
「自分史」作成業務	6,215,000円	(株)SAGA DESIGN SEEDS	令和3年 2月上旬
福島県環境放射線モニタリング交付金事業 ガンマカメラ測定業務	3,693,800円	(株)菊池製作所	令和3年 1月下旬
森林景観整備事業	11,550,000円	飯舘村森林組合	令和3年 3月下旬
消防団車庫建築工事（深谷・二枚橋）	9,130,000円	(株)英工務店	令和3年 3月下旬
福島市松川仮施設設解体工事	7,700,000円	(有)福相建設	令和2年 8月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業（飯舘西部その1） 農業用排水施設等補修工事	25,740,000円	(有)福相建設	令和2年 12月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事 飯樋町地区 第2回工事	42,735,000円	(有)渡建工業	令和3年 3月下旬
業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事 深谷地区 第1回工事	42,020,000円	(有)福相建設	令和3年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事 上飯樋地区 第3回工事	47,960,000円	(有)英工務店	令和3年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事 前田地区 第2回工事	47,850,000円	濱田建設工業(株)	令和3年 3月下旬
村道除草事業	1,936,000円	(株)東栄	令和2年 10月下旬
簡易水道事業経営戦略策定業務	1,268,300円	(株)パブリックマネジメント コンサルティング	令和3年 3月下旬
妻ノ橋沼ノ江1号橋修繕設計業務	6,094,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	令和3年 3月下旬
橋梁長寿命化修繕計画策定業務	3,399,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	令和3年 3月下旬

入札日／7月17日(単位：円)

ふくしま森林再生事業発注準備業務	1,760,000円	(社)福島県森林・林業・緑化協会	令和2年 8月下旬
被災地域農業復興総合支援事業 伊丹沢地内畜産用機械一式	103,615,600円	(株)南東北クボタ 飯舘営業所	令和2年 10月下旬
旧飯樋小学校渡り廊下等解体撤去工事	8,580,000円	斎藤運輸工業(株)	令和2年 9月下旬
旧草野小学校トイレ改修工事	5,720,000円	関場建設(株)	令和2年 9月下旬
飯舘村復興震災記録交流施設建築工事	495,000,000円	関場建設(株)	令和3年 3月下旬



お知らせ



佐藤金正川俣町長（中央）、菅野村長（右）、原隆之いいたてまでいな再エネ発電株式会社代表取締役（左）が協定書に署名。地域の安全の確保と、自然エネルギーの活用と、連携して取り組んでいくことを申し合わせました。

川俣町と協定を締結しました
大火山の風力発電施設の運用に関連して

村も出資する「いいたてまでいな再エネ発電株式会社」の風力発電の風車が、事前の環境アセス報告で見えないとしていた説明と異なり、川俣町内から見えることが判明。村は、川俣町に対し、このことを謝罪し、報告書を修正した上、今後の課題についても話し合いを続けてきました。その結果、安心安全な生活環境の保全を目的とした「いいたてまでいな風力発電施設に関する協定書」を結ぶこととなり、9月23日、川俣町役場において締結式が行われました。

いいたてまでいな再エネ発電株式会社
村も出資して平成25年に設立。大火山で発電事業を行っています。太陽光発電に風力発電を組み合わせた「クロス発電」を行うため、平成30年に風力発電施設の建設を開始。完成した風力発電施設は、9月4日から発電を開始しています。

9月の村の動きと主なできごと

- 1日・飯舘村移住者100人達成記念 記念品贈呈式（村役場）
- 3日・土地改良区理事会（村役場）
- 5日・自主文化事業「守時タツミ・ピアノコンサート」（交流センター「ふれ愛館」）
- 7～18日・9月議会定例会（村議場）
- 8日・第4回文化祭実行委員会（交流センター「ふれ愛館」）
- 13日・飯舘村敬老会（いいたて希望の里学園 第一体育館）
- ・第14回市町村対抗福島県軟式野球大会1回戦 対昭和村 ※不戦勝
- 15・18日・健診結果個別相談会（いちばん館）
- 20日・いいたてパークゴルフ場 オープニングセレモニー（いいたてパークゴルフ場）
- ・第14回市町村対抗福島県軟式野球大会2回戦 対白河市（小野あぶくま球場）
- 24日・第8回農業委員会定例総会（村役場）
- ・土地改良区理事会（村役場）
- 24～28日・飯舘村防災ハザードマップ行政区ワークシヨップ（交流センター「ふれ愛館」）
- 25日・学校運営協議会（村役場）
- 28日・定例教育委員会（持ち回り開催）
- 30日・飯舘村表彰式（交流センター「ふれ愛館」）
- ・新型コロナウイルス感染症予防給付金 交付

人が「しあわせ」になれる方法

こころの ぽけっと

近頃、テレビはなぜかクイズ番組が多くなってきていると思うのは、私だけででしょうか。そこで私もクイズに挑戦です。

西洋の古いことわざで、「人は〇〇の数だけ幸せになれる」こんなクイズを見つけました。〇〇の中に入る漢字2文字の言葉は何でしょうか？というものです。

ヒント① 多くの方が、今までの人生の中で何度もやっています。

ヒント② ひとりでは、出来ません。

ヒント③ 誰かと楽しく会っている時や「祝い事」の時、これをします。

まだ分からないですか…大ヒントです。居酒屋でよく聞かれます…。

もう分かったでしょう。答えは「乾杯」です。確かにある時は友人と、仕事仲間と、そして愛する人と乾杯をしますね。またある時は、知らない同士であってもこの「乾杯」で瞬時に仲良くなる方法でもあります。「乾杯」には他人同士を「仲間」にしてしまう、不思議な力があるんです。したがって、この「乾杯」の文化は言い方は違っても、世界中にあるということがお分かりいただけると思います。

でも、近頃、新型コロナウイルス感染症とやらのため、この「乾杯」の機会が激減してしまいました。

また「新しい生活様式」とやらが定着すると、人と人が「面と向かって話し合う事」が悪であるかのような印象の社会になっていくような気がして心配です。それでは決して「幸せ」にはなれないのではないのでしょうか。でも、今のところ、新型コロナウイルス感染症にならないように、しばらくは「幸せ」にならない生活に努力するしかありません。思い切り「乾杯」をして「幸せ」がつかめる日まで、皆で努力していくことにしましょうや。

この「幸せになれる方法」が私の最後の「こころのぽけっと」です。これまで読んでいただいた方に、心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和2年9月8日 飯舘村長 菅野 典雄

地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー

8月16日に開催したイベント「山の向こうから」には、予想を超える沢山の方に来ていただきました。

村内からも、いつもお世話になっている方々を始め、沢山の方に「遊びに来たよー」と声を掛けていただき、改めて村に来て良かったと感じる事ができた1日となりました。

今回は11月1日を予定しております。前回よりも店舗数が増え、「一同に集結するなんて信じられない((((;°Д°))))!!」と思ってしまう出展者様ばかりです。

こんな時だからこそ楽しんでいただきたいと、感染症対策も含め、毎日心を込めて準備しております。

来場していただく皆様の、コロナに対する意識や対策が、開催につながると思っております。来場時のマスク着用、検温、感染経路特定用紙の記入に、ご協力をお願いいたします。



山の向こうから音が聞こえる。
あれは、鼓を打つ音。
木を削る音。
山の向こうに光が見える。
あれは軒から漏れる光。
ろうそくの灯火。
その光と音に、モノつくる者たちが集まってくる。
私たちの肉の手は何かを作るためにある。
モノから、私たちの暮らしが生まれる。



今月のライター

飯舘村地域おこし協力隊
二瓶 麻美さん
モノづくりの魅力が
ぎゅっとつまったイベン
ト「山の向こうから」。
今回は11月1日、やす
らぎ工房（旧草野幼稚
園）前庭で開催の予定。



佐野志帆さんの

ラオス通信。

vol.2

ラオスのファッション

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？佐野さんのレポートで素朴な疑問に答えよう。きっとラオスが身近になりますよ！

佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。



民族衣装「シン」と「スア」。肩に
かける布「パービアン」は正装時に



毎週月曜日、教員は制服を着用。子どもは男女関係なく赤や青のリボンを

みなさんはラオスの伝統服をご存じでしょうか。ラオスの女性が日常的に身に着けているのが、「シン」と呼ばれる巻きスカートです。シンの素材は主に綿かシルクで、家や職場での普段着としてはもちろん、学校や企業の制服、結婚式などの式典で正装としても着用します。初めてシンを見たときは、窮屈そうに見えたのですが、実際に着てみると、あぐらをかいたり自転車にも乗れるくらい動きやすく、すぐに気に入りました。

シンの柄（織り方）は、地方や民族によって異なるため、旅先で地方の特色がある布を買うことも楽しみの一つ。私の活動していた南部サワンナケートでは、藍染を用いた幾何学的な文様が親しまれており、もつと南に行くときビーズを織り込んだものもあります。シンを買うときは市場の仕立て屋さんに行つて布を選び、自分の体に合わせて縫ってもらいます。セミオーダーにもかかわらず、安いもので一枚千円からと比較的安価で手に入れることができるため、気づけば月に二回のペースでクローゼットのシンが増えていきました。新しいシンを職場に履いて行くと、女性陣が「新しいシン？」「綺麗だね」と声をかけてくれて、とても嬉しかったです。

最近では、外国人や旅行者向けに、シンの柄でスリットが入ったタイトスカートなども売られているので、みなさんもぜひお気に入りの一枚を見つけてみてください。

今回は
ラオスの結婚式
を紹介します！

ひとのうごき

(令和2年8月31日現在)

人口	今月(前月比)
男	2652人 (-5)
女	2658人 (-10)
計	5310人 (-15)
世帯数	1840戸 (+4)

8月1日～31日までの

◆人口動態◆

転入	4人
転出	17人
出生	2人
死亡	4人
(住民基本台帳人口)	

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高橋 トヨ	95	前田・八和木
佐藤 ヤイ子	79	前田・八和木
高橋 利彦	86	小宮
黒須 卓郎	85	二枚橋・須萱

ご冥福をお祈り申し上げます

ほっと NEWS 花だよりが 届きました



いいたてオリンピア
も村内各所で



前田行政区 住民が協力して



大久保・外内行政区 一面の花畑

HOPES

ホープス セカンド

2nd

「また食べたいな」の声に応えて

高橋 トク子 さん（深谷）



深谷に生まれ育ち、同地区の農家に嫁いだトク子さん。生活改善グループや農産加工グループで代表を務め、農産品を生かした食品加工に取り組みました。80代となった現在も現役で活躍中。

「いいたて村の道の駅までい館」に並ぶトク子さんの梅干し、味噌、ジャム…おいしさにこだわった手作り品です。そして「漬物名人」の看板商品である「キムチ漬け」は、「また食べたい」「どこで買えるの」とやみつきになるファンが今も絶えません。嫁ぎ先は大きな農家。義父と同様、夫の英明さんも、村内のさまざまな役職を担いながら農業に励んでいます。



加工所の前には今年収穫されたカボチャ。このカボチャを使った「かぼちゃ饅頭」も人気の商品。かつては小豆あんを入れていましたが、現在はやさしい甘さのカボチャあん。

した。トク子さんは家族を支え、自らも食品加工を学んで地域の仲間と直売所を立ち上げるなど、農村の暮らしの向上と仲間づくりに邁進。村が主催した「嫁と姑の旅」で訪れた韓国でキムチと出会い、研究を重ねて、絶品キムチを開発しました。全村避難で生活が一変。一時は体調も崩しましたが、あぶくま地域のかーちゃんが集結した「かーちゃんのカプロジェクト協議会」での活躍を経て、現在は避難先と村、両方の加工所で仕事をしています。カボチャやシソ、ナンバンなど、材料の野菜も村の畑でつくります。続ける理由は「食べたい、つくってほしいと言われるから。それだけなんです」。体にもやさしいトク子さんの味です。まだまだファンの期待は収まりそうにありません。

〈編集後記〉

●暑い夏が過ぎさり、村にも過ごしやすい季節がやってきました。被害をもたらす程の台風や大雨は極力避けたいですが、雨上がりのキラキラと光る村内の風景に心まで洗われるような気持ちになります。雨降って地固まるように、気持ちを新たにいきます。（木幡）

●「稲刈りするよ」「地区のみんなで花を植えたんだ」と広報に情報をいただくと、とてもうれしくなります。いそいそと見に行ったり、それが記事につながったり。村からの発信に留まらず、皆さんが広報を通して身近なできごとを共有してくださる…そんな時は、ますますありがたい気持ちで満たされます。（星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。